

主催 宮城県中小企業家同友会社員共育委員会

～経営者と社員が共に学ぶ～

2014社員共育塾のご案内

経営者と社員が共に問題意識を共有して「人が育つ社風づくり」を推進するための学びの場としてご好評いただいていた「社員共育塾」が、より本質的で実践的なカリキュラムへと進化して開講されます。

いつの時代、どんな経営環境になっても、中小企業経営にとって拠り所となる「人」を中心とした経営の実践に繋がる内容です。ぜひ奮ってご参加ください。

社員共育委員長 真壁 英一

【開講の目的】

① 自社経営への全社的理解を深める

特に社員の参加条件を設けませんので、幅広い立場や役職の社員と共に参加することで自社のビジョンや優先すべき課題等への全社的理解を深めることができます。



② 異業種他社との相互交流で自分と自社を客観視する

他の会員企業からも多くの経営者及び社員の方が参加してグループ討論を行なうので、相互交流によって自分と自社の今の立ち位置を客観的に掴むことができます。

③ 自社での「人が育つ社風づくり」の具体化に取り組む

締めくくりの第4講では自社単位でのグループ討論の時間を十分に確保しているので、「これから(明日から)具体的に何をするのか？」まで議論を深めることができます。

参加費 お一人 10,000円 ※第4回の懇親交流会【食事・飲み放題込み】代含む

参加条件 ① 会員企業の経営者及び幅広い立場・役職の社員の方を対象とします。

② 「経営者と社員が共に参加する」こと。(社員のみ参加は不可)

③ 4つの本講座全て参加をお願いします。

(経営者の方は事前オリエンテーションと振り返り反省会も原則ご参加下さい)

参加定員 80名(定員になり次第〳切いたします)

会場 仙台市民会館 (仙台市青葉区桜ヶ岡公園 4-1 Tel 022-262-4721)

宮城県青年会館 (仙台市宮城野区幸町 4-5-1 Tel 022-293-4631)

宮城同友会事務局 (仙台市宮城野区榴岡 1-6-3 東口鳳月ビル 4階 Tel 022-355-2771)

経営者オリエンテーション(既に参加申込済の経営者と参加検討中の経営者のみ対象)

日 時 1月29日(水)13時~14時30分 場 所 仙台市民会館第3会議室

同友会の社員共育の考え方とそれに基づく「2013社員共育塾」の開講目的などについて詳しく説明するとともに、意見交換などを行ないます。

※下記講座の詳細説明あり。可能な限りご参加下さい。(文書でも詳細は事前告知します)

第1回 自社の歴史・理念・ビジョン・商品やサービスを自分の言葉で語ろう

日 時 2月17日(月)18時~20時45分 場 所 宮城県青年会館大会議室

自社に関する歴史や理念、ビジョン、商品・サービスなどについての理解を深め(インプット)、限られた時間で相手が理解できるように伝える(アウトプット)力量をつけるとともに、自社についての「全体観」を持ち、その中での自分自身の立ち位置や役割を再認識する機会とします。

【経営労働委員会とタイアップ】

第2回 新入社員と先輩社員の「共育ち」を進めるためには何が必要か？

日 時 3月3日(月)18時~20時45分 場 所 宮城県青年会館大会議室

「新しい社員を迎えるにあたって何をしたらいいのか？」という疑問を具体的に深めます。採用から入社にあたっての対応といった全社的な取り組みと、OJTの支援や相談しやすい人間関係づくりといった新入社員と先輩社員との関わりについて問題提起をし、グループ討論で深めます。

【共同求人委員会とタイアップ】

第3回 経営者と幹部社員の「共育ち」を進めるためには何が必要か？

日 時 3月17日(月)18時~20時45分 場 所 宮城県青年会館大会議室

自社の理念・方針・計画に対する理解を深め、共に「経営を担うパートナー」として経営者と幹部社員がどう育ちあうのか？具体的に深めます。経営者と幹部社員それぞれに求められる役割について理解し、その役割を担うために今自分自身に何が必要なのか？をグループ討論で深めます。

【同友会大学とタイアップ】

第4回 自社に必要な社員共育とは？～明日からの実践のために考えよう～

日 時 3月27日(木)18時~21時00分 場 所 宮城県青年会館大会議室&レストラン

これまでの講座を振り返って、今後の自社で「人が育つ社風づくり」を進めるために、全社的にどのような取り組みを進めるのか？自分自身は何に取り組むのか？方針・計画・目標設定などについて自社メンバーで討論します。

終了後は、これまでの学びを振り返りながら「懇親交流会」(飲食)を行ないます。

振り返り反省会(参加した企業の経営者のみ対象)

日 時 4月7日(月)18時~20時00分 場 所 宮城同友会事務局

参加各社から参加して分かった自社の課題を出し合うとともに、全体と各講座の企画運営について振り返り、今後の社員共育活動に活かします。